



平成 24 年 3 月 22 日

社 長 大 中 勝 博

昨日、社員募集に盛岡の専門学校に行ってきました。約 30 名の学生さんに会社説明を行なったのですが、岩手県の沿岸部から来ている学生さんも多く、津波の被害に会い家族や家を失った人もおられ、お気の毒な限りです。

もう東日本大震災から丁度、1 年経ちました。この大震災による死者・行方不明者の合計は約 1 万 9 千人です。大震災は昔から世の中が乱れると起きるとされてきました。現代においては大震災を自然現象として一笑に付すことは容易いことです。しかし、少なくとも日本においては歴史を照合すると、為政者の失政時に天変地異が起きており、これを神罰と証明できた人間も、これを否定し得た人間もおりません。即ち、証明問題ではないのです。やはり胸に手を当てて正しき為政がなされているのか考えるべきだと思います。

これは宗教観の問題であるとすれば、その思惟は各人の自由に委ねられてはいますが、正しいものは正しいし、間違っているものは間違っています。事象は全て原因と結果の連鎖のなかにあり、神仏の目から見れば不变の真理は歴然としてあるとして、謙虚に人智を省みた方がよいと思うのです。天変地異は個々人の力がなかなか及ぶところではありません。避けるに避けがたい大震災であればこそ、我々は祈りと鎮魂を捧げるものです。

翻って、1 万 9 千人の犠牲者以上に毎年、自殺者がいます。自殺者は毎年、毎年 3 万人以上出ています。生きたかったであろう被災者に対し、何と申し開きができるのでしょうか。人生は「苦」だと釈尊は説きました。イエスは「愛」を説きました。マホメットや孔子は神、天の至高と秩序を説きました。過去から現在に至るまで救世主、先哲は人生を様々な角度から説き起こし、人々を教え人類を指導した先生なのです。

この地球上に問題を抱えていない人など唯の一人も居ません。自分の課題を放り投げても何も解決しません。まずは受け入れて下さい。自殺は絶対にしてはなりません。受け入れて熟考すれば道は開けます。受け入れもせず嫌だ、嫌だと反応している間は、道は見つかりません。人は永遠の生命を持っていると信じ、実感している私からすれば、世界教師の教えに学んだ方が良いと思います。

【訃 報】

平成 24 年 3 月 14 日 システム営業部 五十嵐 真 部長が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。生前お世話になった方はどうぞ葬儀にご参列下さい。当社はご遺族の葬儀ご意向を待っている状態ですので、詳細は追ってお知らせ致します。